絵入
一休はなし
二
1742
2

へ 13
1742
巻 2

乃法華よりのふ不ゝくて遊付ゝる法師乃くやゝれ
ばそれいふ後乃ゝるれたゝ毛ゝゝ乃ゆるゝ及ゞとゝく南ゝ
第乃八百まゞゝゝもゝるゝんゝとおゝゝゝゝとゝれあ毛
ゝく地獄乃貧ゝくゝけ勿やまいゝ法ゝゝゝ
乃法へばゝれ勿祈ゝゝゝ勿ゝゝゝゝ

あるとき旦那の病気ありあまりまかりぬけるあまりの病よい
め何病湯殿乃うやまとしかんてんぶつ乃ごとくいみさ
りやあるまじくといみさるれくがらひとづくいうふとも
やわんと一人やうれいどのくせ者をまるべしとやせ
んくやわんとしかるにやうれうがいやくくおかくまり
うとおしてるばかりねるやはんびそれよ
うなる中の気毒のミ二三人の旦那ぐそしうるびはる雑
と名ごうるべしおりしば雑人ようもあればそれ
かくかとうるばあごうはかるうはるべうばと
たのりくいひわるもてくびそれ三人まりうち一休い
であひとう方乃病結すくく一人やもうるは此間

さ後くの出産治してもはやくいかりくばと家内
れのくやくと平生ちいちばひくはうくいふくはう
をのあごやうて意とあるくかんはけはういひば
用くくいうばうまくはをれよかるくまう
せんくはけくやうう一休いたもうまてはうる
教ばもくくはうはうとまくはうとまくはうと
びくはかのうばくくやつまくくいくはうを出さ
まくうはうやんかくはくはるれたおのく
八月末乃ようくうれいびとくよくうくかるくくびを
あばくくくうはるくくはくくはくくは

門外へ出るひくおろくひきたんごくいそぎゆく
へく行つく我わが命いのちはいかにくおろくはを名
よ後乃とへやうんとおくの君へどんご今年まを
年くしもしもとびはこ人よ凝しのふこ人のろこびはや
もくたしめをとて門外へそろと出く板社戸
さねうのとていそぎを名乃ろ面かりたかり乃
ふこひしそてこれいは奇る
本来乃西国坊う学ちもぐこ
一国乃しうの恋とそるれ
我乃ろうたやも蓬麻をあるかんも
此ろ見ゆへよ分とやつしけを

とかれうろこ人乃ろ絵よお遠しくろれいろと
ものとそしおひごろ乃ほんをもろぬ身がおろぬ
ろぎとひけう社おうしうれとてそごあほごけ
よたいうれろ社おろうるれはうるがうたほ
りかが色ふうし末ふきごあはおやうれどけうら
乃ろ西かを末ろうしおがまぬ人いろうろり
八一休和尚い蝉がはなぬろく或日乃つまくにたこと
冥ふつうれろるひ打ふ柳よろやうれろうんこ
かしことりろあろこおろく咽りうれはるとびまぬく一首
此とびろいそぐとて今ようたなが独乃
たうれ入ごろ乃おそろよ

とわそでゝゝる糸へ蜻蛉の釣瓶ゝ蛍籠りゝくれば一休
よろこびるひゝくゝ山さこしざくゝこゝふもひざんのよへ
だゝの頑ゝくゝていそゝく一首
千年鶴音蜻ゝ多　刺身醤油酢祥めの
作品一味天拉別　化粧武住乾天丼
やまゝ等ハすゝゝるゝ蔵穴蘇よまゝ去蕎よまゝ
ゝるゝやゝくゝゝるゝさゝゝふせてよゝゝくゝまゝるゝぶゝゝ
ゝくゝゝて抽酢とゝけゝくゝひゝくゝひゝくゝゝるゝぶん
ぶゝゝゝくゝ酒ゝぶ西ゝりゝるゝゝ餅りふゝゝ蜻とま
ゝりゝれゝ出布ゝゝれゝるゝに皆たゝゝ旦那ゝ見ゝと
てゝゝるゝさゝるハ一休ハ仏ハやゝにゝひゝふ

蜻と西りくるゞ見ハりんるまゞ恠やしゞわざけと
ゝくしんぢ一休とゝ口さゞぢやゝよまれく
蜻とゝぢまたゞりあまぢぱせん方るゝ一ゝりとくゞく
りねとゝ西りくゝとゝこれるりくあゞぢいまへたちまゝ口
ゝり注おりしあゞぢくゞ一ゝりあゝとあゞぢいまゝふやいゝく
ゝゝゝ恠やとゝおゞりわゞりくゝゝしゝりゝゞぢく
ゝゝぢ注ゝふゝゝゝとゝゝ注ゝりんゝとく百万遍ふ
ゝ法注ゝ注りく長寿法注乃量儀ゝゝんゝくおれん
まひゝるりへくゝ一ゝ拾ゝ長寿乃わゝぢゝゝとゝひしためし
ハありまゞりくれたゝゝる口ゝり出るゝり長寿大師
ゝへゞゝりぢまゞぢせいゝゞぢゝ一ゝ西ゝ一ゝく馬儀ゝ口ゝり

たゝとりわりくゝゝ一ゝくゝれせん方ふゝ一ゝ拾られりくまゝぱゝゝふへ
ハれ注ゝりぢハれ注ゝりぢハれ注ゝりやゝ口ゝゝゝりくゝりくゝ
㊇一休雪ハ生仏くゝ魚ゝ西りくゝゝ中へゝゝゝ生一注
へハゝゝ奥たちまゝ注いゝくりくゝりゝ乃ゝくゝに一ゝゝ注
中ハ式ゝりるりるりゝ式へ寄りくりりくれハゝ一休ゝりゝ
一くハゝ一やゝ注中一乃辻くふゝる花ゝゝゝわゞりれ
くりゝゝゝくゝゝゝゝゝくゝ
来ゝりりくくれ日ゝ一ゝくゝゝゝゝゝゝゝ松乃やゝゝ
よハりくゝ魚ゝゝくりくゝゝゝゝれ魚ハゝゝゝ出
ゝ中ゝハりくゝゝゝ一ゝゝゝゝゝゝ注ゝ注ゝ
大丈ハ天下ゝ寄和尚一休大徳師

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人乃あまりいそんとてくぶるまでさふらーざとてふ
まてくぶ一休とかめんぐるぶくぶのくそるにひらられ
ぶきをはれるーのぶるぐるとりくとかんぐられぶ
人はぐかくぐるまぐさあるぶりとん
十白川乃色ふをあるーけるの業ーよ名誉るるの
ふる人ぐらけるぐ一休乃ぶるるをを宝及びいそ
ふるく雑白紙けぶんとそくんぐけられるぐぶ
ぶるひるるるるまるぶーるるれぶるぐ一休へるり
ぶ参人まるぶ極一白まくくんとぶそ白川色去
るぶ出ぶくとぐいそぐれるぶ打高一休を感ぶまり
くくぶ参人よるぐるくるぶ問くたくくーる

乃ぶぐを出来るれぶぶぶるるるぶぶりる及びぶ
ぶるぶぶるくくを一白あるぐぐ一休ぶるくんとる
るれるれぶ一休ぶるくいるる参白ふ参るを掘くくる
るぶるぐるるるあるぐ色とるーるぶ問くくくくる
るるぐ一休ぶるとるぶ黒形とくくくぶんる白と社い出るれ
とぶくくるれぶまぐ鰐を引入るぶるや付られる。
るくくいぐるぶ人ぐ白川のるくとるーるれるれば
白河黒器出
とるるぐるくるれぶ伝ぶるぶるるるぶ内を出るる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆうとうりんぽ面いたれりせんぐ。夫よ。ぶんの中の四
ぶんぞ。ぶけ。ぶんぞ。ぶけ。ぶんぞ。ぶけ。

らんのおふ番花すくとりくるるにぷぐいろ傾
二ぞんぷらんとりん柏しぷみのくへさらうせるれんぷいん
たけくくとれあらく板れ傾ふ向るるけぷみ百らう
ふてるしそおいとらんぷ傾いるぐくぷなぐめんぷけ
おらくくとやれぷ傾ぞるのみい一絵しるとるくぐ
ぞるんぷ傾た柏いるぐくぷ方丈へふげへるれ名一体
そのもれるおひくぷれ傾ふ行るすやしるるぷいろ
くくとやるくぷ一体のくるるひるるはぷくぐろ傾のらぐめ
るやぷくく藝るもるくぐ傾れぷ名と行へ板
とてるくるたるくはしるひぷるとべくくらんぷ
へるるれ出くぐるるへ柏やるるんぷらんぷ達乃名とやる

やくるくれらんれんぷおるるれるぐくれるくくとり
るるぐくぐるひるへ先ぷ中るるけぷやるひふたるるいぷが
ぷるるはおるんれ板ひるくるへぷ名ぷるんるるぞ
ひるくるいるるやくやぷるひるくるるいぷおくくるるとぐるるる
れるくるいぷ百らんのすい知れ。
百要らんとるるれ行れるれるもりるぐくぷ
るひくれ板るれれ花るくるるれぷるるくれ
れくれ一要ぐるりれ中れ花るるるれれれ
ぷ要れくるりるくるくぷんれるれ行れれれ
へるぷへるるんぐるくるくるぷて目ふくるくれ
ふくるるるるるれれぷるぐるれるれ

ようとてとびくぐるわやうにんぎのこふろぶ
㊀元三の暮のもちぐめ門のもちぐめとて
天竺海の人くがーうれとも長命なるとも然るに
もそもそもそもそもしかざるものかるるすす
とこの屠蘇白散ようぶろこうの鬢ようつけが
ぐこもとの酒ろく屠蘇のりたつてぐれくふいと
ひませがわりこの酒いぼこんこのふるかるこの酒こい
わーしたぐのそーこのどやうに鶴このろ酒のの
この酒私ようてーこのようはうぐこ代のこのーこのぶめ
みこれしまつーぬるの新年人の門こここてこの酒
ようふろわんどくくーくこ見と元ふまぐろふたぐ元

わけねこばいこんぐもゆくくこ又た水日の春ぐこん
もるくてのぐのこの私ようぬ代の年世といこのこの酒
ぐこ酒このようこのこのこのこのこのこの利
とじこがりぬの日ふこ長とめぐりぐ
とくぬるすぐようとるりくくこ八日八十年七まぐりこい
このく世代酒のこいぬこちりかどもるこ人こと一体
おーくこーこ酒ようぬりうるうこ接の暮まりるこも
こりりくくーここれくこのぐめぬげろふのまるこようぬ代ふろ
ひくぬようーひるもるここせの中ひくこれくこぬろ正
月ぐこぬこぐ河の月燈れこりるんこ野ぬるこりこい
るこぬぐ酒ぬんせんくこここぬこるくくこぬゆくくこぬやこり

うぐとのひろい事ばかりをはなしねるさく。時を社あれえ三
ろ夫よ。ぶ宇のあるくしく門の夫へ。ぬ敷くくしさ。
ぬ見んくくうくあるきうふ。苦へいまつくく門さくこあ
居ろくるとに。三ヶ月ぱ門ぷと。渡しけるへ。ぶえん
ぱ。体どもんまつくせ。或人のろうぱ。ぬんとは。むぬ。極迎
いくもかぐらてもぶ。はくくのどぶえんど。
世ろくるいくぶくいるひろぶよもひてけけた
ちやとのくるどぶくへおくるくるすぱちぐるくどやと
ゆくえんぐえれぶよるれもいるものくぷまやもおくるぬ
おろくくふぬんとうえぷぐくくくふとぷいぐんねろぐ
やじくく夫思大祢岩ろふ。ぬろ。ぬいくちぷのおくろ

えれば山もやまもうつくべちかかぬぐくとに相いかのしとく侍る。
ふるげなる山もやまもうつくべかりしこ
月わ度りくれまりるなし
とゆりうまひくもみしやくて月かるあるあるあ
とげぬぐくしくしつまるるぐ皆人とれくくといまるる
めぐくるのみをるーんるるつひとくくつあるる門
の月波きるるわ世とげ月よんあるる風の春ものと
ろるくくふ月んせよくるるくくいもふるるねば月春
起るいかりるくしのるくいる人とやくく枝をかー
るるひくるくおくまねくいるるる
西の国の天名月まるるるぬけ時ーやるれ

紙をしくくく

のべぐさぐさと数しるしたる日ふみあれば数方のかんがう
の手師とぞ申べくれとぞおぼしわひるーわひたるとるる。
枕おのづからとうきさとくんくれば一休さまのおん
ふ一ぢしるぶ法人とやくくと耳とそばだてあるに一
言ともひ給ひたる天とてはひくさぢとてはと
とふさぐさまのくくしくくく

件の貢像とこれをかくこまつ中ゝくんぱやと
きこゆるとの仰ひは貢像とこうとくひこさ
らんとこそ。まことに天下の師範なり
未法の規範なり高野寺
過世来代尊人　一切衆生易往生
法然上人　安産蓮華上人
信阿法然法師　一枚起請文
尼入道同尼　病床
を法師のあとをゝくれば板社とおもくおもくたよ
ろこび給らくは法然ふ法師とゝ僧とをゝろ和
ゝくぶとあふしゝとくゝ入日蓮宗わざくゝ

きこゆるとの社ゝ生とかの僧と日蓮
宗ふ人をゝ人をゝくれば日蓮宗はゝ
蓮宗と法華宗とは法門とわゝそひさゝふ大のいひ
ぐゝ半つゝ後ゝといふゝくれば日蓮宗は
僧とゝくゝ人をゝ一休とゝねゝふくゝけ
ゝ中ふ一人やけのいぬやゝ一休乃法人ゝ酒ふゝ
ゝ日蓮宗ふ法ゝ人乃僧ふ
ゝ僧とゝひくゝうんぞ法乃慶喜ゝとゝ
ゝくれば法乃慶喜ゝ法ゝくゝいそぎゝくゝ
ゝ一休やゝて一休ゝ乃ちて寿とたのしゝ
ぱゝとゝ乃ゝ法僧ゝくれぱやゝとゝ

ゑとひらさけんだくろがぢ山ゑ月桂もちいさく書て
うえ黄ゆう衣とき色ろまと笑ひまいくゝロクゝ
さんびいたもくつゝふ大ゑたかせさてなんぢ元日海
玄宗法師の僧とゑまんアんゆ口おくいひくれ地ゑれ
あゝどぢんちろりけふかくせく来らいぢそぎ僧して法
しゆをぢんはいろくゝさまれ法乃僧とおこうとくく
法華日蓮法ぬ来　香座則見色ぬ法聲
尼へ道日蓮　一遍　題目踊狂
かゝどくふがうびまち乃粉よりがうぢ
とそおくしわそづろとやそ法文やこうん学の
法ちゆ法華の経乃中と学くぢたるかゝうとゆ僧

ゆふ一ぢかどうり乃僧ゆるしぢゆふがれ山方ゆも僧と
れそうんとくぢ先一山のゝくとゝび高徒合せてれれ
を中に一人ゆるれ先一山ぬれ教家乃祖師ゆれ高ちに僧
ろしぢまんゝゝ乃高等大師の真像小写法たのまれ
くゆせれ高ゆやうゝ乃高等大師の真像小写法たのまれ
ぢぢ小ゆし法ゆ法ゆまゝくゝ乃高ゆれまゆれ
まんゝ乃高等大師乃真像とゝ法一体ゝまゝ
ゝれ乃高乃真像のゝまゝ作りに海山ゆゝ
見まゝくまりいゝぢれ山方乃高等ゆる写法わ
そづくゝべゝゆくれぢれ社やとゝれ見とくれ
法とひくさいらんゝ法ゆゝ一年さゝくくと書ゆ。